

日時： 令和7年10月7日(火) 16:00～17:30

場所： 愛らんど4階 障がい者交流室

参加者： ・【就業・生活支援センターあみ】
・【愛媛県立愛媛中央産業技術専門学校】
・【今治障害福祉課】
・【基幹相談支援センター】
・【マルクワークス喜田村】
・【健心工房】
・【ここすた】
・【障害者施設のま】
・【相談支援事業所Any】
・【今ねっと】
・【ちゃぼとひよこかなん】
・【りんぐ】

・【今治公共職業安定所】
・【今治特別支援学校】
・【ネオリサイクル】
・【カイト今治】
・【クリエイト21】
・【サスケ設計工房今治東】
・【栄光】
・【障害者生活支援センター】
・【らびっつ】

計 21事業所 28名

1. 開会のあいさつ（基幹相談支援センター）

2. 講演

内容： 『就労支援のためのアセスメントシート』の活用方法について

講師： 愛媛県障害者職業センター
主任障害者職業カウンセラー 高向伸治氏

3. 質疑応答

※事前質問へのご解答をいただきました。

質問① 働くための練習が必要な人への支援の可否や、そのための促し方

回答： 職業準備性ピラミッドに沿って、解決見込みのある部分へアプローチしていく。

見込みがない場合は、課題に向き合って支援していく。

現状のままの就職をした場合、想定できる可能性の有無を知らせておく必要もある。

準備性が整っていない方でも、企業側が受け止める土壌があれば、就職は可能。

（ただ、そういった企業は稀）

質問② 企業との連携方法

回答： 企業とも信頼関係の構築が大切。利用者に肩入れしすぎたサポート体制にならないように留意
企業側に、できる/できないは明確に伝える。就労に対する利用者さんの懸念点を伝える。
伝えた上で、上手く進まない場合は進路を変えたり、準備性の再構築を進める必要がある。

4. 閉会のあいさつ（基幹相談支援センター）

5. アンケート記入